報道発表

市町村第３８２号
令和８年10月１日

県政記者クラブ　各位

岩手県ふるさと振興部市町村課総括課長

# 【開催のお知らせ】10/7「岩手県内自治体職員 越境交流ミーティング in 宮古市」

～ 「選ばれ、働き続けたい自治体」へ ～
自治体職員が組織・役職の壁を越えて集まり、人材育成・定着促進を考えます

岩手県では10月７日（水）13時半から、県内自治体職員が所属の垣根を越えて交流する**「岩手県内自治体職員越境交流ミーティング in 宮古市」**を開催します。沿岸地域では初めての開催※です。

採用難・離職が課題となる中、採用だけでなく、**職員が育ち、働き続けたいと思える職場づくり**を考えながら、**自治体の枠を越えて連携し**、人材育成・定着の課題を相談できる関係の構築を目指します。

つきましては、ぜひ当日ご取材下さいますよう、よろしくお願いいたします。

※　県内では8/5の県北地域（久慈市）開催に続き２回目です。

## １　趣旨・概要

人口減少・少子高齢化が進み、自治体においても人材確保が難しくなる中、採用に加え、職員の育成・定着や、誰もが働き続けられる職場づくりが重要な課題となっています。

今回は、民間企業と自治体における先進的な取組を学びながら、参加者が課題や取組を共有し、人材育成・定着や職場づくりについて、自治体の枠を越えて考え、つながる機会とするものです。

第１部「事例共有セッション」では、アース製薬株式会社から健康経営・ウェルビーイングを軸とした人財マネジメント、小田原市からクロスメンター制度を通じた人材育成について紹介いただきます。

第２部「対話セッション」では、これらの事例を踏まえながら、参加者間で人材育成・定着や働きやすい職場づくりについて意見交換を行います。

## ２　名称

岩手県内自治体職員越境交流ミーティング in 宮古市

## ３　日時

令和８年10月７日（水）13時30分～17時00分

## ４　会場

イーストピアみやこ　２階多目的ホール
（宮古市宮町一丁目１番30号）

会場イメージ（生成AIで合成）
会場レイアウトおよび討議風景のイメージです。当日は参加者が複数のグループに分かれて意見交換を行います。

## ５　主催・共催

主催：岩手県　共催：宮古市

６　参加者（9/30 現在）

現地参加自治体職員数　　約 30 名　※その他オンライン聴講者あり

現地参加者所属自治体　｛岩手県／宮古市／大船渡市／普代村／田野畑村／岩泉町／山田町／大槌町／住田町／紫波町｝

７　主な内容

【第１部】　事例共有セッション

①アース製薬株式会社（岩手県包括連携協定締結企業）

健康経営・ウェルビーイングを軸とした人財マネジメントについて、職員の健康、働き方、両立支援、人財育成などを含む取組を紹介します。

登壇者：齋 有希子 様

②神奈川県小田原市

所属部署の異なる職員同士をつなぐ「クロスメンター制度」を中心に、職員の成長や定着を支える人材育成・組織づくりの取組を紹介します。

登壇者：片山 久美 様

【第２部】　対話セッション

第１部の事例を踏まえ、参加者がグループに分かれ、人材育成・定着や働き続けたい職場づくりについて、それぞれの職場が抱える課題や取組を共有します。

アドバイザー　役重 眞喜子 氏　岩手県立大学総合政策学部 准教授

アドバイザー：
役重 眞喜子 様

【ご取材ポイント】

**〇自治体の人材確保を「採用」だけで終わらせない。**

採用難や若手職員の離職を背景に、「選ばれ、育ち、働き続けたい職場」をどうつくるか、県と市町村が一緒に考えます。

**〇沿岸地域で初めて開催する自治体職員の越境交流**

人口減少の影響が大きい地域を含む自治体職員が、担当職員だけでなく管理職級の職員まで、組織の壁、役職の壁を越え、人材確保・育成・定着という共通課題を共有します。

**〇民間企業と自治体、二つの先進事例を一度に。**

アース製薬株式会社の健康経営・Well-being を軸とした人財マネジメントと、小田原市のクロスメンター制度。組織戦略から現場で実践できる人材育成までを横断して学びます。

８　ご取材について

- ご取材いただける場合は、13 時以降、直接会場へお越しください。
- 会場内での写真撮影及び取材は可能です。参加者個人へのインタビュー等は、本人の了承を得た上で実施願います。
- 取材対応は、主に主催者（岩手県ふるさと振興部市町村課総括課長）及び共催者（宮古市）が行います。

担当：ふるさと振興部市町村課 行政担当 高橋
電話：019-629-5230（直通）
E-mail：takanori_takahashi@pref.iwate.jp